

2017 年 9 月 20 日

CA Technologies、IBM z14 向けの 「Day One」サポートで「信頼できるシステム」を実現

～先進のイノベーションにより、両社の顧客がビジネス・ニーズの変化に適応し素早く対応できるよう
セキュリティ、スケーラビリティ、柔軟性を強化～
(本資料は、[2017 年 9 月 13 日に米 CA が発表した情報の抄訳です](#))

(2017 年 9 月 13 日、ニューヨーク発)

CA Technologies (本社: 米国ニューヨーク州、マディソン・アヴェニュー、CEO: マイケル・グレゴア) は、CA の主要なメインフレーム・ソリューションとして IBM の新たなメインフレーム製品である IBM z14 に対応した「Day One」サポートの提供を発表しました。このソリューションは、新しい z14 プラットフォームを活用することで、暗号化需要の増大に伴うパフォーマンスの低下を抑えるとともに、データ漏洩に関連して脅威が及ぶ領域を大幅に縮小させます。

IBM Z 担当 ゼネラル・マネージャ Ross Mauri 氏

IBM の顧客はメインフレームへの投資を活用して、ビッグデータ、IoT、ブロックチェーン、機械学習、クラウド・サービスなどの分野における新たなワークロードをサポートしています。当社と CA とのパートナーシップは、IBM z14 上でのデジタル時代の信頼、スピード、そして使いやすさを実現し、企業はソリューションを駆使して事業を拡大する機会を得られるでしょう。

データ・セントリックなセキュリティとプライバシーが暗号化の普及を促す

欧州と米国との間でのデータ・プライバシーに着目した個人データ移動の法的枠組みである「EU/US Privacy Shield」や欧州連合一般データ保護規制 (GDPR) をはじめとする新たな規制が短期間のうちに承認されています。検索や分類から保護、アラートまで、IBM と CA は一体となって、一元化されたエンタープライズ・セキュリティを提供し、新メインフレームと現行メインフレーム全体にわたる組織のコンプライアンス構造の向上に寄与します。

[CA Data Content Discovery](#) (CA DCD) は、機密データが保存されている場所を特定し、機密データを誰がどのようにアクセスできるのかをより厳密に選択できるよう分類することによって、新しい z14 の広汎な暗号化機能をサポート・補完します。また、データが第三者との間で共有され、やりとりされる際の「移動中の」機密データについても制御機能を有します。

ブロックチェーン - 次世代の取引記録システム

現在、新しい分散型ビジネス・モデルで多くの業界を変革しようと、顧客が続々とブロックチェーンの採用を進めています。ハードウェア接続の FIPS 140-2 レベル 4 暗号化や不正開封防止機能付きのコンテナなどの優れたセキュリティ特性、スケーラビリティ要件から、メインフレームは分散元帳の概念実証から本番稼働グ

レードの実装まで幅広いスケールで企業組織が選択するプラットフォームとしてその存在感を増しています。

CA Technologies メインフレーム担当 ゼネラル・マネージャ Ashok Reddy

z14 は信頼できるシステムです。ブロックチェーン・サービスに対する CA の標準ベースのアプローチと組み合わせれば、使いやすさ、スピード、データ・セントリックのセキュリティ、エンタープライズのスケールを実現します。そして、このことはブロックチェーンを実装する上で重要です。最終的には、個人を特定可能な情報 (PII)、ビッグデータ、IoT に関連するデジタル・アイデンティティ管理をサポートする様々なアプリケーションの集まりで構成される“信頼できるインターネット”へとつながるからです。

CA は、金融サービス、保険、小売業界の顧客と連携して、[Hyperledger プロジェクト](#)に従事しており、ブロックチェーンの実装の市場投入時間の短縮、運用管理の強化の実現を目指しています。

リアルタイムの機械学習と人工知能

企業データの 70%以上がメインフレーム上に存在している事実を鑑みると、IBM z14 は、リアルタイムの機械学習と AI の実現に最適なプラットフォームです。CA の[予測インテリジェント・オートメーション・サービス](#)と IBM z14 との組み合わせで、顧客は SLA の要件を一貫して満たし、あるいはそのレベルを凌駕するようミッション・クリティカルなサービスを運用することが可能です。

最近出版された Forrester のレポート*の中で、アプリケーション開発&デリバリー専門家を担当する、副社長兼主席アナリストの Mike Gualtieri 氏は CA Mainframe Operational Intelligence のことを下記のように言及しています。「AIOps は、機械学習アルゴリズムを駆使して、自己学習型 (潜在的にはセルフ・ヒーリング型) のアプリケーションとインフラストラクチャを構築することを目指しています」

CA による IBM z14 の「Day One」サポートとサポート対象製品の一覧については、[こちら](#)をクリックしてください。

関連情報

・ビデオ: [System of Trust: the new z14 platform for enriched data protection](#)

・ブログ: [A system built for trust](#)

* 「Vendor Landscape: Cognitive Operations」 - コグニティブ・オペレーションとは IT 運用管理とアプリケーション・パフォーマンス管理の AI 版。2017 年 8 月 25 日、Forrester Research, Inc. 発行。Eveline Oehrlich、Mike Gualtieri、および Milan Hanson 共著。

CA Technologies について

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、ビジネスの変革を推進するソフトウェアを提供し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスをつかめるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。CA Technologies の詳しい情報については、<http://www.ca.com/us.html> (米 CA Technologies)、<http://www.ca.com/jp> (日本)をご覧ください。また、ツイッターについては、https://twitter.com/ca_japanをご覧ください。

*本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

この件に関する報道機関からのお問い合わせ先:

CA Technologies
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 9 階
コーポレート・コミュニケーション部
TEL: 03-6272-8110 FAX: 03-6272-8115
e-mail: CA@pr-tocs.co.jp